



わかば



生活に関するアンケート



子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。このような、子どもたちの基本的な生活習慣は、時代や社会の変化にともない少しずつ変わっていきます。このため文部科学省では数年に一度、子どもたちの基本的な生活習慣等について調査しています。最近では高校1年生に相当する年齢の子どもを対象に調査を実施し、その結果が今年の2月に「家庭や学校における生活や意識等に関する調査結果」として公開されています。これによりますと、75%の高1が朝7時までに起床し、0時30分までに就寝しています。さらに、87%が朝食・97%が夕食を毎日食べています。本校の現状と比べると、高校生の朝食摂取割合が低いのは気になりますが、それ以外は同じような傾向にあるようです。

アンケートで「朝食を作ってくれない」と回答した子がいますが、これは、親：「作っても食べないから作らない」、子：「時間があるので食べようと思ったら食事が無い」＝「作ってくれない」、つまり、親子のずれ違い（対話不足）のように思います。

学校生活については、日本人学校では中学部が「宿題が辛い」の割合が多く乗り越えなければならない大きな山となっているようです。アメリカの学校は、渡米当初は英語がわからず辛い思いをしますが、それが過ぎれば楽しい学校生活が待っているようです。



本校の子供達の睡眠時間と朝食ならびに学校生活について(10月実施アンケート調査より)

| 質 問 | 項 目 | 小1～3 | | 小4～6 | | 中1～3 | | 高1～3 | |
|-------------------|-------------------|------|------------|------|-----|------|-----|------|-----|
| | | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 | H26 | H27 |
| 毎日夜は何時頃寝ますか | 9時前 | 35% | 34% | 22% | 12% | 3% | 13% | 0% | 0% |
| | 9時～10時 | 51% | 44% | 45% | 56% | 20% | 13% | 0% | 5% |
| | 10時～11時 | 8% | 18% | 28% | 28% | 38% | 46% | 41% | 15% |
| | 11時～12時 | 5% | 4% | 4% | 3% | 22% | 14% | 36% | 50% |
| | 12時以降 | 1% | 1% | 1% | 1% | 17% | 14% | 23% | 30% |
| 毎日朝食は食べますか | 食べる | 86% | 84% | 95% | 90% | 71% | 89% | 86% | 65% |
| | 時々食べない | 13% | 15% | 5% | 9% | 16% | 9% | 9% | 10% |
| | 食べない | 1% | 1% | 0% | 1% | 13% | 2% | 5% | 25% |
| 食べない理由は何ですか | 時間がない | 8% | 11% | 4% | 5% | 8% | 5% | 5% | 15% |
| | 食欲がない | 4% | 5% | 1% | 3% | 16% | 6% | 9% | 10% |
| | 作ってくれない | 2% | 0% | 0% | 2% | 5% | 0% | 0% | 10% |
| 日本人学校での生活はいかがですか。 | 楽しい | | 57% | | 66% | | 45% | | 80% |
| | 宿題が辛い | | 39% | | 34% | | 47% | | 0% |
| | 勉強がよくわからない | | 4% | | 0% | | 8% | | 20% |
| 現地校での生活はいかがですか。 | 楽しい | | 78% | | 77% | | 82% | | 70% |
| | 英語が辛い | | 15% | | 15% | | 9% | | 10% |
| | 勉強がよくわからない(つまらない) | | 5% (2%) | | 8% | | 9% | | 20% |

児童生徒の作品

お気に入りの場所

中学部 1年

カーター 愛里沙

私のお気に入りの場所は祖父母の家です。二年に一回しかいけません、それがまたかえって特別になります。お気に入りの理由は二つあります。一つ目は、祖母と祖父に毎日会えるからです。祖母と祖父がそばにいてだけで気持ちが明るくなります。二つ目の理由は、小学校や公園がすぐ近くにあるからです。体験入学の時、授業中に窓から見下ろすと祖父母の家があり、とても安心しました。友達とは、学校で約束をしてすぐに公園で遊べました。私の一番大好きな思い出は、祖父と一緒に公園や近所を歩き回ったことです。太陽の照りつける中、三十分歩いてとても疲れたことを覚えています。それと、友達が家で私と一緒に遊んでくれたことも覚えています。私はこんな祖父母の家が大好きで、また日本に行く時は、絶対祖父母の家に行き、精一杯楽しもうと決めてます。

アニメや漫画、小説などにおける表現規制について

中学部 3年

沖 悠奈

表現規制とは、人権を侵害したり、犯罪などを誘発しかねないなど、社会通念上好ましくないとされる表現を法令等で規制することを指す。

親が子供に見せようとは思わない性的・暴力的な描写が大衆の目に映りにくいのは良いことだと思う。

しかし最近、規制において気になる点はいくつかある。第一に過剰に露出シーンを規制している点だ。少女が出てくるアニメがロリータ・コンプレックスの人々による幼児への性的暴行を増やすのではないかという心配も分からなくはない。しかし、アニメにおいて大きな消費活動を行う人は約20万人程いる。そして、幼女レイプ被害者は年に565人程だという。仮に幼児が多く登場するアニメが世のロリコン趣味の人々の影響があるとしたらもっと多くなってもおかしくはない。よって、アニメが性的犯罪者を増やす主な原因であるという考えは間違っていると言える。ドラえもんのおまけのパンチラシーンまで消すのはやり過ぎだろう。第二に、暴力シーンを抑制しすぎだという点だ。暴力は少年犯罪を増長させるかもしれない。確かに同級生殺害の際、ドラマ等を参考にした人間もいる。しかし、子供向きアニメの中には名探偵コナンや金田一少年のように犯罪や暴力が日常茶飯事のものも多くある。もし、暴力シーンを見ることで子供が犯罪を犯すならあちらこちらの学校で殺人が起こるといような惨事になるかもしれない。だが、そのようなことはない上、アニメの量が少なかった1960年代をピークに減少しているの、暴力シーンと少年犯罪は比例していないと言える。

「ニコニコニュース」でも「凶悪犯の部屋にロリコン系だのオタク系だのといった創作物があつたとしても、それが要因で凶行に走ったとは断定できない。」とあるようにアニメ等への犯罪者との関係は証明できない。

表現規制は子供から性的・暴力的な描写を遠ざけてくれるが、すぐにそれらを犯罪と結びつけずに客観的に見ていく必要がある。

世界とボーカロイドの関係について

中学部 3年

カーラー 咲里菜

VOCALOID（ボーカロイド・ボカロ）とは、メロディーと歌詞を引用して、サンプリングされた人の声を使って歌が作れる音声合成プログラムだ。初めはヤマハ株式会社が開発した技術だが、ボーカロイド「初音ミク」の流行につれて、他の会社も同じようなプログラムを出し始めた。今、このプログラムの名前がだんだん知られていくうちに、考えるべき事は、ボーカロイドの流行は、社会にどんな効果をもたらすのかという疑問だ。

この技術は声域と声のスタイルの多様性に良い点がある。今売られているソフトは、「鏡音レン」「巡音ルカ」など、様々なキャラクターとして表現されていて、歌のジャンルなどによって違うキャラクターの声（違うソフト）を買って使える。通常のマイクソフトのコンピュータで簡単に使えるインターフェースのおかげで一般の人でも音楽が作れる。しかも音楽の大手制作会社に所属していないインディーズのアーティストにとって人間の歌手を雇うより安い。便利なプログラムだが、問題を予想する人もいる。その一つは「慣習的・伝統的な音楽」つまり人間が書いて人間が歌うものの価値やイメージが失われる恐れだ。これは、技術が発達すればほど人間の歌手の必要がなくなるかもしれないという不満だ。もう一つの問題点は、オタク文化の正規化だ。ボーカロイドのパッケージにアニメ調のキャラクターイラストを使用して発売している結果、キャラクター（ボーカロイドプログラム）が本物のアーティストだのように売り出され、同じように買い取られている。無邪気なボーカロイドファン、プログラムを使うアーティストや海外のファンに影響を与えてしまうかもしれない。

ボーカロイドは音楽の世界を変えることができる新しい技術だ。しかし、よりすぐれたプログラムが開発されるにつれ、また、もっと人気になるにつれ、ボーカロイドの様々な良い点と予想の問題点を意識して使ったり、作られた音楽を聞いたりしなければならぬ。

